

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年2月23日

【応募者】 団体名：株式会社 にこやか旅行 所在地：岐阜県大垣市新田町3-6 林ビル2階 TEL/FAX：TEL 0584-47-5665 FAX 0584-88-1955 担当者：山中 和洋 メールアドレス：yamanaka@258k.co.jp 登録旅行業：第 3-283号（旅行業者の場合のみ、ご記入ください。） （ANTA会員の場合は、右もご記入ください） 会員登録番号：岐阜県第3種283号	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 （記入不要） <h1 style="color:red; font-size: 2em;">42</h1>
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】																
神秘の水、おいしい水、豊かな水。そして水との戦い。 “西美濃”水のふる里と「奥の細道むすびの地」を訪ねて	岐阜県	大垣市・養老町 揖斐川町・海津市																
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】																		
豊富でおいしい地下水に恵まれ、「水の都」と呼ばれる大垣、神秘の水、「養老の滝・孝子伝説」、日本一の貯水量を誇るロックフィルダム「徳山ダム」等の特徴を背景にして地域の産物や歴史、文化を活かした旅をご案内します。																		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他（ ）																	
【旅の目的】	千年の昔から健康を支えた水のふる里“西美濃” 神秘の水、おいしい水、豊かな水、そして水との戦いを、人とのふれあいを通じて、体験していただきます。																	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期：3/下旬～11/30)	【催行人員】																
	40名 (最少催行人員：15名)																	
【原価】	内訳 宿泊代(2泊4食)：1人当たり27,700円 (揖斐川丘苑 15,900円 ロワジールホテル大垣 11,800円) 昼食1回1,050円 柘作り体験500円 交通費10,800円 (貸切バス・駐車料等) その他経費450円																	
【販売価格】	41,500円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【子供料金】																
	大人1名	有 (32,000円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)																
【旅行企画のセールスポイント】	水が豊かでおいしい西美濃には、水にまつわる伝説・伝承が数多くあります。また水との戦いを今に伝える輪中と治水も歴史文化のひとつです。名水と名物、自然、歴史文化まで、水と出会い、水と親しみ、水の魅力を満喫できる場所があります。 ①日本名水百選の「養老の滝・菊水泉」②地下水が自噴する“平成の水百選”「加賀野八幡神社自噴井戸」 ③日本一の貯水量を誇る「徳山ダム」④木曾三川の治水工事 ⑤俳聖・松尾芭蕉が奥の細道の旅を終えた地 ⑥全国シェア8割を誇る大垣市特産品の木柘の製作体験																	
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】	<table border="0"> <tr> <td>① 大垣市観光協会</td> <td>／ 資料提供・案内</td> <td>⑤ 海津市商工観光課</td> <td>／ 資料提供・案内</td> </tr> <tr> <td>② 大垣市商工観光課</td> <td>／ 同上</td> <td>⑥ ロワジールホテル大垣・揖斐川丘苑</td> <td>／ 宿泊</td> </tr> <tr> <td>③ 揖斐川町商工観光課</td> <td>／ 同上</td> <td>⑦ 柘工房ますや 大橋量器</td> <td>／ 柘製作体験</td> </tr> <tr> <td>④ 養老町商工労働課</td> <td>／ 同上</td> <td>⑧ ふるさと大垣案内の会</td> <td>／ 観光ガイド</td> </tr> </table>		① 大垣市観光協会	／ 資料提供・案内	⑤ 海津市商工観光課	／ 資料提供・案内	② 大垣市商工観光課	／ 同上	⑥ ロワジールホテル大垣・揖斐川丘苑	／ 宿泊	③ 揖斐川町商工観光課	／ 同上	⑦ 柘工房ますや 大橋量器	／ 柘製作体験	④ 養老町商工労働課	／ 同上	⑧ ふるさと大垣案内の会	／ 観光ガイド
① 大垣市観光協会	／ 資料提供・案内	⑤ 海津市商工観光課	／ 資料提供・案内															
② 大垣市商工観光課	／ 同上	⑥ ロワジールホテル大垣・揖斐川丘苑	／ 宿泊															
③ 揖斐川町商工観光課	／ 同上	⑦ 柘工房ますや 大橋量器	／ 柘製作体験															
④ 養老町商工労働課	／ 同上	⑧ ふるさと大垣案内の会	／ 観光ガイド															
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —																	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —																	
【特記事項】	大垣の祭事期にあわせると、よりいっそう楽しめます。 4月上旬：奥の細道むすびの地、舟下り芭蕉祭、さくらまつり 5月上旬：大垣まつり 8月上旬：大垣水まつり 10月中旬：大垣十萬石まつり、10月上旬：すのまた秀吉出世まつり 11月：中仙道赤坂宿まつり、芭蕉元禄楽市・楽座																	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	※平成の水百選 ※日本一の貯水量を誇る ※国定公園 揖斐川 大垣駅=====加賀野八幡神社自噴水=====道の駅「ふじはし」=====徳山ダム(見学)=====揖斐川丘苑(泊) 13:00 13:15~13:40 14:40~15:00 15:20~16:20 17:00頃 ※大垣名産品“木柘”にて試飲 ※純和風やすらぎの宿
2日目	※日本名水百選 ※「水の都大垣」を、ふるさと大垣案内ガイドと共に歩く歴史文学コース(約2H) 宿=====養老の滝・菊水泉=====大垣市内(句碑巡り・大垣城・奥の細道むすびの地記念館)=====大垣市内(泊) 8:30 9:45~11:15 12:00 昼食：新名物“芭蕉元禄いなすし”約1H 16:00頃 体験：柘作り体験 約40分 夕食：芭蕉水御膳
3日目	ホテル=====国営木曾三川公園・千本松原・治水神社=====岐阜羽島駅・・・各地 8:30 9:30 11:30 12:30頃 ※木曾川・長良川・揖斐川の3つ大河が寄り添って流れる日本最大級の広さを誇る 国定公園。水と緑の館や展望タワーなどの施設があります。

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
平成の名水百選「加賀野八幡神社：自噴水井戸」 	徳山ダム 	日本名水百選「養老の滝・菊水泉」 
【コメント】 大垣市は全国でも有数の自噴帯に位置しており、豊富な地下水の恵により水の都と呼ばれてきました。今でも良質な地下水が自噴している井戸は数多く見られます。中でも加賀野八幡神社井戸は、「岐阜県の名水」に指定され平成20年には環境省より『平成の名水百選』に選ばれました。深さ136mから、清らかな地下水がこんこんと湧き出ており、天然記念物“ハリヨ”の生息場にもなっております。	【コメント】 西美濃の新しい観光スポット日本一の貯水量を誇るロックフィルダムの徳山ダムは西美濃最北部、揖斐川上流に位置し高さ161m、長さ427.1m、総貯水容量約6億6,000万m ³ (派名湖の水量の約2倍)の日本最大級のロックフィルダムです。四季折々に移り変わる豊かな自然とともに楽しむ事ができます。	【コメント】 孝子伝説で有名な日本三名瀑の一つ養老の滝。約30mから流れ落ちる水は、夏なお肌寒さを感じさせるほどの見事な景観です。酒に変わったという水は生命を育む若返りの水であり、ときの天皇が「老いを養う水」にちなみ「養老」と改元したと伝えられるほどです。公園一帯には元正天皇が浴されたと伝えられる泉、「菊水泉」があります。この泉の水は菊の香りがするというのが名づいたと言われます
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
●奥の細道むすびの地 ●観光ボランティア  	●木曾三川公園 ●千本松原と片野記念館  	●揖斐川丘苑 ●ロワジールホテル大垣  
【コメント】 松尾芭蕉が「奥の細道」の旅を終えた地で詠まれた「絵のふたみに別行秋ぞ」を刻んだ蛤塚など句碑めぐりや、関ヶ原合戦での西軍・石田三成の本拠地などを「ふるさと大垣案内の会」の観光ボランティアガイドがまごころ込めてご案内します。大垣市は“柘”の生産量全国シェア80%を誇っています。日本有数の産地に近く、良質な天然産物です。日本有数の産地に近く、良質な天然産物です。日本有数の産地に近く、良質な天然産物です。	【コメント】 展望タワーからは、木曾三川(木曾・長良・揖斐)と濃尾平野の雄大な風景が間近に見られます。江戸幕府が薩摩藩に命じた治水工事が今に言う「宝暦治水」です。薩摩藩士が植えた松は、約1kmの美しい松並木になっています。この地区は大河が合流する低地の為、昔から繰り返し洪水に襲われました。そこで住民たちが共同で堤防を築き、村全体を輪のように堤防で囲んだ「輪中」が発達しました。輪中の民衆を使った私設民族博物館「片野記念館」を見学し、オリジナル柘つくりの体験をしていただきます。	【コメント】 大垣の豊富な地下水や自噴水のおいしい水を活用して様々な食産業が生まれました。おいしい和菓子作りにはおいしい水が欠かせません。大垣の代表的な銘菓・金縁円饅頭をはじめ、柿羊羹、みそ入りせんべい等があり、中でも水まんじゅうは店頭で水に冷やしたまま売られ、夏の風物詩となっています。芭蕉、元禄いなすしや、芭蕉水御膳の夕食など提供いたします。国定公園揖斐川に位置する安らぎの宿とモダンで機能的なホテルでご宿泊。ロワジールホテル大垣では「10大特典付の芭蕉パック」でさらにご満足。

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年 2月 日

【応募者】	団体名：特定非営利活動法人飛騨小坂200滝	国土交通省 国土・水資源部 水資源課 水源地域対策課 事務局
開催地：岐阜県下呂市小坂町小坂町769番地	TEL/FAX：TEL 0576-62-2215 FAX	(記入不要)
担当者：桂川 淳平	メールアドレス：Hidaosaka200taki@ever.ocn.ne.jp	43
登録旅行業：第 号(旅行業者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号：		

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
岐阜の宝もの“小坂の滝めぐり” —マイナスイオン放出中— 【活かそうとしている「水」の特性・特徴】	岐阜県	かんだてきんや 巖立峽
御嶽山からの伏流水、温泉成分を含んだ青白濁の水		

【日程】 1. 日帰り ② 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他()

【旅の目的】 小坂の滝めぐり

【開催時期】 春・②・秋・冬・夏 / (実施時期： 8月) 【旅行人員】 20名 (最少旅行人員： 5名)

【費用】 19,800円(1名) マイクロバス 5,000円 宿泊料旅館 12,000円
ガイド料 1,000円 諸経費 1,800円

【参加資格】 (※日帰り旅行のみ参加可) 大人1名 【子供料金】 有 (円/1名)・無 (※日帰り旅行のみ参加可)

【旅行企画のセールスポイント】

主要駅からマイクロバスにて旅館まで、旅館にて滝めぐりコースの事前研修その夜は温泉旅館に宿泊。翌日バスでの出発点へ、滝から放出されるマイナスイオンを浴びて疲れを取るため日帰り温泉に入浴し疲れを癒してからバスで帰っていただきます。滝めぐりの『踏瀑証』と『絵馬』をお土産にします。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役員】

① 下呂市観光客誘致対策協議会	／ 宣伝	⑤	／
② 小坂町滝めぐり・まちづくり協議会	／ 受け入れ対応	⑥	／
③	／	⑦	／
④	／	⑧	／

【旅行日程】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【観光ポイント】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【特記事項】 御嶽山麓には、5m以上の滝が216箇所あります。滝をめぐりコースが13コース設定されており、初級から上級コースがそれぞれあり自分にあつたコースに行くことができます。滝は、5万4千年前に噴火した御嶽山の溶岩で出来ており、様々な滝を見ることが出来ます。滝からはマイナスイオンが放出されておりこれらと森林浴をかみ合わせた癒しの旅がおすすです。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	名古屋圏 ⇒ (マイクロバス) ⇒ 下呂温泉 (事前研修)
2日目	下呂温泉 ⇒ (マイクロバス) ⇒ ひめしゃがの湯 ⇒ がんだて公園 ⇒ ミツ滝 ⇒ あかがねとよ ⇒ からたに滝 ⇒ ひめしゃがの湯(入浴・飲める温泉) ⇒ (マイクロバス) ⇒ 名古屋圏
3日目	
4日目	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
【コメント】 標高3,067mの御嶽山5万4千年前に噴火したのが現在の雄姿であります。“小坂の滝めぐり”は御嶽山の溶岩によるものが多い。	【コメント】 御嶽山の溶岩が兵衛谷17kmに亘り流下しその末端付近にあるのが天然記念物『巖立』です。高さ72m、幅120m 御嶽溶岩流の断面とも言え『日本地質百選』にも指定されています。	【コメント】 巖立近くに存在するミツ滝(下段5m、中段11m、上段6m(写真にはありません)の3段になっています。上段の滝壺は、日が射しこむと水の色は“エメラルドグリーン”に変わります。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
【コメント】 ひめしゃがの湯から「濁河川」「椴谷」沿いに1時間余り林道から数分下りると「あかがねとよ」落差14mの斜め滝があります。御嶽山溶岩が浸食され雨樋のようになっていることからこの名がつけました。	【コメント】 「からたに滝」落差15m、「あかがねとよ」から50m離れているだけです。この周囲は、御嶽山溶岩の柱状節理に覆われており水量の豊富なことから轟音につつまれ昼過ぎになると虹が見られます。	【コメント】 日本の滝百選「根尾の滝」落差63m、しぶきは200m余りに降り注がれます。この企画コースの上流濁河川にあり多くの方がおとづれます。

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月26日

【応募者】 団体名：財団法人いびがわ <small>いのち</small> 生命の水と森の活動センター 所在地：岐阜県揖斐郡揖斐川町鶴見 653-1 TEL/FAX：TEL 0585-52-0166 FAX 0585-52-2166 担当者：林 将史 メールアドレス：inochinomizutomori@oocn.jp 登録旅行業：第 ー 号（旅行者の場合のみ、ご記入ください。） （ANTA 会員の場合は、右もご記入ください） 会員登録番号：	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 （記入不要） <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">4 4</div>
---	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
日本一の徳山ダムと上流の豊かな自然にふれよう / 揖斐川源流水源地探索会	岐阜県	揖斐川町
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 濃尾の水瓶といわれる揖斐川源流「徳山ダム」上流は98%以上が広葉樹の森に覆われ、イヌワシ、クマタカなど貴重な動物・植物が息づく豊かな自然が保たれています。ここから流れ出る「おいしい水」を満々と蓄える日本一美しい「徳山湖」に触れていただき、ダムの重要性や水源地の自然環境を守るための保全活動の重要性の理解を深めてもらいます。		
【日程】	1. 日帰り ② 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他（ ）	
【旅の目的】	総貯水容量日本一「徳山のダム」や日本一美しい「徳山湖」、上流の豊かな自然に触れ、自然を満喫していただきます。そして、揖斐川源流地域でゆったりとした、次のような体験を楽しんでいただきます。 ①水源地探索（徳山ダム見学、トチノキ、ミズナラなどの天然林に囲まれた「徳山城跡」や巨樹めぐり） ②体験活動（水源地で育ったサワアザミの「おやき」づくり、間伐材を利用した「マイ箸づくり」、水源地に生息するヤマセミまたはカワセミの「オーナメントづくり」 このことにより水源地の重要性の理解を深めてもらいます。	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / （実施時期： ）	【催行人員】 20名（最少催行人員：5名）
【原価】	内 訳 宿泊費：6,500円体験宿泊施設「ふじはし星の家（1泊2食）」 昼食代：2,000円（2食） バス移動費4,000円（養老鉄道揖斐駅集合、2日間マイクロバス利用） 体験料（2,500円材料費・保険料含む）	
【販売価格】	円 大人1名	【子供料金】 有（ 円/1名）・ 無（旅行業登録のある場合のみ記入）
【旅行企画のセールスポイント】		
・総貯水容量日本一「徳山のダム」や日本一美しい「徳山湖」、上流の豊かな自然に触れいただけます。 ・体験で作った、サワアザミの「おやき」、マイ箸、バードオーナメントはお持ち帰りいただけます。 ・お泊まりいただく体験宿泊施設「ふじはし星の家」隣接の「藤橋歴史民俗資料館」と「藤橋城 西美濃プラネタリウム」、「西美濃天文台」が無料ご利用いただけます。		
【企画協力（後援）機関・団体名/主な役割】		
① 揖斐川町 / 後援協力	⑤	/
②	⑥	/
③	⑦	/
④	⑧	/
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】		

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	10:00 養老鉄道「揖斐駅」集合 10:50 オリエンテーション（ふじはし星の家） 11:10 徳山ダムのしくみなどビデオ鑑賞ダム学習（水と森の学習館）、周辺散策 12:00 昼食 13:00 徳山ダム・徳山湖・世界一の徳之山八徳橋（車中）・本郷望郷広場・徳山城趾・水源地の横綱「シロビヤスギ」、徳山湖最上流宮ヶ平、徳山会館など見学 15:30 藤橋城 西美濃プラネタリウム・藤橋歴史民俗資料館など見学、 17:00 入浴、夕食 19:00 西美濃天文台で星空観察（晴天時のみ）雨天時は天文職員による星の話し 20:00 自由時間
2日目	7:00 起床 7:30 朝食（荷物整理） 8:30 体験活動（水と森の学習館）間伐材を活用した「マイ箸」、ヤマセミなど「バードオーナメント」づくり 12:00 昼食 12:30 体験活動（水と森の学習館）水源地で育った、サワアザミの「おやき」づくり 14:40 ふじはし星の家出発 15:30 養老鉄道「揖斐駅」解散
3日目	
4日目	

【主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来など）】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
【コメント】 総貯水容量日本一を誇る徳山ダムがあります。	【コメント】 ●両界山横蔵寺 801年(延暦20)に伝教大師最澄(サイチョウ)が創建したと伝えられる寺。22体の国の重要文化財が安置され、多くの絵画、書籍を蔵していることから「美濃の正倉院」と呼ばれている。中でも200年前に即身成仏したという妙心法師のミイラは有名。秋になると周囲の山々や境内に植えられた木々が美しく色づき、紅葉の名所となる。	【コメント】 ●谷汲山華厳寺 798年(延暦17)に豊然(ブネン)上人が開創した天台宗の寺。西国三十三番清願堂であり、清願を果した巡礼者が着物を脱いで納める笠摺(オイヅル)堂や、本堂の柱にかかる青銅の鯉に触れて精進落としをするなど独特の雰囲気がある。「谷汲さん」の名で親しまれ、桜や紅葉の名所でも知られる。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
観光箇所の画像などを添付	観光箇所の画像などを添付	観光箇所の画像などを添付
【コメント】	【コメント】	【コメント】





【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

年 月 日

【応募者】 団体名 : 郡上市観光連盟 所在地 : 岐阜県郡上市八幡町島谷 130 番地の 1 TEL/FAX : TEL 0575-67-1808 FAX 0575-67-1820 担当者 : 江川 誠二 メールアドレス : s.egawa@city.gujo.gifu.jp 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h2 style="color: red; text-align: center;">45</h2>
--	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
みくまりのかみ 水分神“白山”と水の恵みを活かす秘境の旅「白山美濃禪定道と城下町歴史絵巻」	岐阜県	郡上市
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
霊峰白山は水の源として、古くから濃尾平野に至るまでの長良川流域の人々に恵みを与え、水分神として崇められてきました。その白山源流部に位置する郡上市は、白山信仰による人の営みと自然との共生により、水を通じて古今伝授の“優雅”な文化と城下町郡上八幡のまちづくりが生まれました。そこから郡上独特の水をテーマとした生活、郷土芸能、工芸が生まれています。		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()	
【旅の目的】	①水の恵みを活かした郡上ならではの「自然 (いとしろ大杉等)」に触れることで“水資源の大切さ”を参加者に理解していただく。 ②水の恵みを活かした郡上ならではの「まちづくり (郡上八幡等)」から“歴史と人の営み”を感じてもらう。 ③水の恵みを活かした郡上ならではの「伝統工芸 (郡上本染等)」から“職人のこだわり”を理解していただく。 ④「旅ガイド」を通じて“地域住民による案内育成と地域資源に対する理解”を醸成させる。 ⑤「地元ローカル鉄道」を利用することで地域の足を守りながら、“観光資源”として積極的に活用する。 ⑥水の恵みを活かした地域食材を使い郡上ならではの味をご賞味いただくことで、“食と観光”のまちをめざす。	
【実施時期】	春・夏・ 秋 ・冬・通年 / (実施時期: 10月下旬)	【催行人員】 20名 (最少催行人員: 5名)
【原価】	内訳 【バス代】160,000円/団体、【昼食代】2,000円×3日間=6,000円、【観光施設代】白山瀧宝殿・白山文化博物館・若宮修古館共通券800円、大師堂 (特別拝観) 500円、古今伝授の里フィールドミュージアム450円、郡上八幡博覧館400円、岩崎模型製造1,000円【鉄道代】長良川鉄道 (行き: みなみ子宝温泉駅~白山長滝駅) 1,210円、(郡上八幡駅~みなみ子宝温泉駅) 610円【宿泊代】8,000円×2日間=16,000円【案内人】8,000円×3日間×1名=24,000円/団体、石徹白案内人5,000円×2名=10,000円/団体、郡上八幡案内人2,000円×1名=2,000円/団体	
【販売価格】	円 36,770円 (大人1名)	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
水分神 (みくまりのかみ) と崇められた白山を源流部として流れる長良川から生まれる自然 (水) と人の営み (歴史) について見学するだけでなく、音を聞き、手に触れて体験することで水を活かした郡上文化に触れることができる。また、行程はバスだけでなくローカル列車を利用することで旅の魅力と楽しさが倍増! 行程中はすべて白山神社宮司が案内するため、すべての観光資源を一環性のあるお話で結ぶことができ、お客様の満足度と達成感さらには向上。また、国宝級の仏像の特別拝観や天然記念物の見学などこの旅でしか味わうことのできない行程となっている。		
【企画協力 (後援) 機関・団体名/主な役割】		
① 長良川鉄道/販売商品のPR、特別列車の配車	⑤ 湖白鳥交通・ベイホックトラベル(株)/旅行商品の販売 (予定)	
② 郡上市/市内観光施設への周知		
③ 郡上八幡観光協会・大和観光協会・白鳥観光協会/地元案内人の調整		
④ 郡上地域活性化協議会/各関係機関への周知・広報		
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】		

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	JR岐阜駅=(バス)=郡上八幡駅++(長良川鉄道:清流長良川を車窓から見学)++白山長滝駅=(バス)=長滝白山神社【道中の安全祈願参詣】...若宮修古館【白山神社宮司のご自宅見学】...市内飲食店【昼食:冬新名物きじ料理】...白山文化博物館【白山信仰と人の営み説明】=(バス)=阿弥陀ヶ滝【日本の滝百選】=(バス)=大師堂【特別拝観】=(バス)=市内民宿 (石徹白郷土料理と石徹白の民話)	
2日目	市内民宿=(バス)=白山中居神社【早朝参詣】=(バス)=天然記念物「いとしろ大杉」に逢う=市内飲食店【昼食:B級グルメ!奥美濃カレー】...日本最大の絵巻!古今伝授の里フィールドミュージアム【水と古今伝授のかかりについて説明】=(バス)=最も印象に残った道の駅大賞 (県内)「古今伝授の里やまと」【休憩】...市内旅館 (郡上おどり体験と長良川沿いの露天風呂)	
3日目	市内民宿=(バス)=郡上八幡博覧館【水をテーマにした城下町の紹介、郡上おどり実演見学】...城下町郡上八幡散策 (古い町並み【水を活かした生活紹介】、宗祇水【全国名水百選】、やなか水のみち・いがわのみち【水をテーマとしたポケットパーク】、町家カフェさいとう【国登録文化財蔵家にて休憩】)...市内飲食店【昼食:しし肉料理】...岩崎模型製造【匠の技体験!食品サンプルづくり】...郡上八幡駅++(長良川鉄道:長良川を車窓から見学)++美濃太田駅++(JR高山線)++岐阜駅	
4日目		
【主な観光ポイント (観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
【コメント:長良川鉄道】 長良川鉄道は、その名の通り長良川沿いを走るローカル列車。特に長良川とその周辺の農村部の水を活かした営みを車窓から眺めることができ、日本の原風景 (ふるさと) を感じさせる列車。	【コメント:白山長滝神社と阿弥陀ヶ滝】 美濃番場と呼ばれ白山信仰の拠点となった長滝白山神社は郡上街道と白山美濃禪定道の基点となった。阿弥陀ヶ滝は当時、長滝と呼ばれ、僧による修行の場として栄え、日本の滝100選に選定された名瀑である。	【コメント】いとしろ大杉 白山美濃禪定道の登り口にある周囲約13にもなる天然記念物の大杉。約400段の階段を登ると荘厳な巨木が登山者を迎え、訪問者は感動と達成感で満たされる。昔からの営みを見続けてきた大杉と白山信仰の歴史は今もなお語り継がれている。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
		
【コメント】古今伝授の里 承久の乱以降の領主で和歌に優れている東氏が統治し、連歌師・宗祇に古今和歌集の解釈を伝授した地。まちづくりの一環として野外博物館 (フィールドミュージアム) の駅が整備され、今でもその文化を継承している。	【コメント】水とおどりの城下町 郡上八幡 郡上八幡の城下町整備と水は生活と密着しており、水遊び・生活水・魚釣り・防火用など老若男女を問わず利用されている。この水文化の大切さを継承し、実践しているまちとして多くの観光客を受け入れている。	【コメント】鶏ちゃん 郡上の家庭料理として古くから食されている名物。内容は鶏肉を調味料で味付けし、キャベツ等の野菜と味噌で炒めるだけの簡単料理。一度食べたらとまらないおいしさのため、郡上市民に愛されている。

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月26日

【応募者】 団体名 : 財団法人いびがわ <small>いのち</small> 生命の水と森の活動センター 所在地 : 岐阜県揖斐郡揖斐川町鶴見 653-1 TEL/FAX : TEL 0585-52-0166 FAX 0585-52-2166 担当者 : 林 将史 メールアドレス : inochinomizutomori@oetn.jp 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h1 style="color: red;">4 6</h1>
--	--

【タイトル/サブタイトル】 揖斐川源流冬の森親子体験/歩くスキー、スノーシュー、輪かんじきを体験しよう	【都道府県名】 岐阜県	【観光地域名】 揖斐川町
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 濃尾の水瓶といわれる揖斐川源流「徳山ダム」上流地域は1mを越える豪雪、年間降雨量3,000mmにもなるまさに「濃尾の水瓶地域」であります。春になると雪は解けて、やがて水となり川に流れ下流40万住民の豊かな暮らしを支えます。白銀の揖斐川源流に触れて水源の源、雪の効用、豊かな水源地を守るための保全活動の理解を深めていただきます。		
【日程】 1. 日帰り (2) 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()		
【旅の目的】 小学生親子で総貯水容量日本一「徳山のダム」や日本一美しい「徳山湖」、水源地の冬の森を満喫していただきます。そして、揖斐川源流の白銀の世界で、ゆったりした次のような体験を楽しんでいただきます。 ①歩くスキー (クロスカントリースキー) ②スノーシュー・輪かんじきを使った冬の森自然観察会 ③水源地で育ったサワアザミの「おやき」づくり、このことによりダムの役割や水源地の重要性の理解を深めてもらいます。		
【実施時期】 春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 1月、2月)	【催行人員】 20名 (最少催行人員: 10名)	
【原価】 15,500円 (大人1名) 内訳 宿泊費: 6,500円 (中学生以下4,000円) 験宿泊施設「ふじはし星の家 (1泊2食税込み)」 昼食代: 2,000円 (2食) バス移動費4,000円 (養老鉄道揖斐駅集合、2日間マイクロバス利用) 体験料 (3,000円材料費・保険料含む)		
【販売価格】 _____円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【子供料金】 有 (_____円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)	
【旅行企画のセールスポイント】 ・白銀の揖斐川源流の森を楽しんでいただけます。 ・スノーウォーキングは全身の筋肉の90%程度使うのでとてもいい運動になります。 ・揖斐川源流地域で採れたサワアザミの「おやき」づくりを楽しんでいただきます。また、体験で作った「おやき」はお持ち帰りできます。		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 揖斐川町 / 後援	⑤ /	
② /	⑥ /	
③ /	⑦ /	
④ /	⑧ /	
【催行日程】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —		
【観光ポイント】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —		
【特記事項】		

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	10:00 養老鉄道「揖斐駅」集合 10:50 徳山ダムのしくみなどビデオ鑑賞ダム学習 (水と森の学習館)、徳山ダム見学 12:00 オリエンテーション (ふじはし星の家)、昼食 13:00 体験学習 (歩くスキーor スノーシュー・輪かんじきによる冬の森自然観察) 17:00 入浴・夕食 19:00 野外での星空観察 (晴天時のみ) 雨天時は室内で星の話 20:00 自由時間
2日目	7:00 起床 7:30 朝食 (荷物整理) 8:30 体験活動 (歩くスキーor スノーシュー・輪かんじきによる冬の森自然観察) 12:00 昼食 12:30 体験活動 (水と森の学習館) 水源地で育った、サワアザミの「おやき」づくり 14:40 ふじはし星の家出発 15:30 養老鉄道「揖斐駅」解散
3日目	
4日目	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
【コメント】 ●徳山ダム 総貯水容量日本一を誇る徳山ダムがあります。	【コメント】 ●両界山横蔵寺 801年(延暦20)に伝教大師最澄(サイチョウ)が創建したと伝えられる寺。22体の国の重要文化財が安置され、多くの絵画、書籍を蔵していることから「美濃の正倉院」と呼ばれている。中でも200年前に即身成仏したという妙心法師のミイラは有名。秋になると周囲の山々や境内に植えられた木々が美しく色づき、紅葉の名所となる。	【コメント】 ●谷汲山華厳寺 798年(延暦17)に豊然(ブネン)上人が開創した天台宗の寺。西国三十三番満願堂であり、満願を果たした巡礼者が着物を脱いで納める笈摺(オイヅル)堂や、本堂の柱にかかる青銅の鯉に触れて精進落としをするなど独特の祭田気が漂う。「谷汲さん」の名で親しまれ、桜や紅葉の名所でも知られる。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
観光箇所の画像などを添付	観光箇所の画像などを添付	観光箇所の画像などを添付
【コメント】	【コメント】	【コメント】

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年 2月 26日

【応募者】 団体名 : (株)ツアーランド 所在地 : 京都市中京区烏丸通二条下ル西側529 ヒロセビル4F TEL/FAX : TEL 075-212-3070 FAX 075-212-3081 担当者 : 寅本 征彰 メールアドレス : tourland@silver.oon.ne.jp 登録旅行業 : 第 2 - 357 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : 20012288	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h1 style="color: red;">47</h1>
--	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
京の水紀行 ～平安京から“今”そして未来へ～	京都府	京都市
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
琵琶湖からの“伏せ水”(京の都の地下に眠る地底湖)		

【日程】	① 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()		
【旅の目的】	1000年以上湧き出ている平安時代からの井戸を始め、京の町衆に親しまれている名水を神社仏閣を巡りながら訪ねる。そして未来へ残さなければならない「水」の大切さを実感してもらう。		
【実施時期】	春(夏)・秋・冬・通年 / (実施時期: 2010年8月)	【催行人員】	20名(最少催行人員: 8名)
【原価】	内訳		
	7,553円 (大人1名)	バス(タクシー)代 ¥5,460・弁当代¥1,000 駐車代 ¥ 625・保険代¥ 468	
【販売価格】	8,800円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【子供料金】	有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

現在に伝わる平安時代からの香り。平安時代より京の町衆に愛された『水』を巡り、町衆が大切にしてきた『井戸』から『水』の未来を考える。そして、茶の湯文化発祥の地も訪ねて『水』が生み出した日本文化に触れる。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】			
① 京都市観光協会	/	⑤	/
② 京都商工会議所	/	⑥	/
③ NPO法人京都映画倶楽部	/	⑦	/
④	/	⑧	/

【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【特記事項】	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	10:00~京都駅⇒貴船神社⇒下鴨神社⇒梨木神社⇒茶道家元巡り(小川通り)⇒御香宮神社⇒京都駅
2日目	
3日目	
4日目	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>貴船神社</p> <p>【コメント】 賀茂川(鴨川)の水源であり、水を司る神様『タカ オカミ』を祀る。言い伝えによると1800年くらい前に黄色い船に乗った『タマヒメノミコト』が現在の奥宮で湧水地に神を奉斎された事が始まりとされている。全国で500社を超える貴船神社の本宮。</p>	 <p>下鴨神社</p> <p>【コメント】 創祀は崇神天皇の時代(紀元前90年)と言われており賀茂氏の祖、賀茂建角とその娘『タマヒメノミコト』を祭神としている。松尾大社と稻荷大社と並んで古代山城北部の氏族、賀茂氏と秦氏の信仰の拠点であった。</p>	 <p>梨木神社</p> <p>【コメント】 創祀は新しく、明治18年、三条実篤旧邸の地名(梨木町)にちなみ梨木神社とする。祭神は菅原道真の生まれ変わりと崇められる『三条実篤(さんじょうさねとむ)』と息子の『実美(さねとみ)』親子。実篤は早くから王政復古を唱えていた明治維新の功労者。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【-】
 <p>小川通周辺</p> <p>【コメント】 『小川通り』とはその名が示す通り昔は小川が流れていたらしい。この辺りも良質な地下水に恵まれ、茶の湯文化の中心地として栄えている。また千原十郎と言われる家々も存在している。</p>	 <p>御香宮神社</p> <p>【コメント】 伏見九郎の総鎮守の古い寺。徳川家康が京都所司代として現在地に戻した。伏見城の大手門だった表門や彩色彫刻の本殿は重要文化財である。書院の庭は、小堀遠州ゆかりの石庭である。幕末の鳥羽伏見の戦いでは薩摩軍(官軍)の屯所であった。</p>	

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年 2月 26日

【応募者】 団体名 : (株)ツアーランド 所在地 : 京都市中京区烏丸通二条下ル西側529 ヒロセビル4F TEL/FAX : TEL 075-212-3070 FAX 075-212-3081 担当者 : 寅本 征彰 メールアドレス : tourland@silver.ocn.ne.jp 登録旅行業 : 第 2 - 357 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : 20012288	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h2 style="color: red;">4 8</h2>
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
日本の原風景に名水を訪ねる ～神田の水と由良川源流の『大河の一滴』～	京都府	南丹市美山町
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
大いなる大地の自然、芦生原生林から湧き出る生活の水の源を訪ねる。不純物を含まない微アルカリのミネラル豊富な湧水		
【日程】	1. 日帰り ② 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()	
【旅の目的】	由良川の源流地区“美山”を訪れ「水と共に生きる地域の暮らし」を体験して水の大切さと歴史を学び、将来に残すべき財産としての“水”を考える。	
【実施時期】	春・夏 ③ 冬・通年 / (実施時期: 2010年10月)	【催行人員】 40名 (最少催行人員: 20名)
【原価】	内 訳	
	18,176円 (大人1名)	■バス(タクシー)代...¥6,150 ■屋食代 ...¥1,200 (1日目)/¥1,000 (2日目) ■宿泊代 ...¥5,850 ■ガイド代 ...¥4,000 ■保険代 ...¥ 516
【販売価格】	22,500円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	大人1名
【旅行企画のセールスポイント】	【子供料金】	有 (円/1名) ・ 無 () (旅行業登録のある場合のみ記入)
日本の原風景として有名な『かやぶきの里』を有する美山町の自然を満喫。水と共に育まれる産業(鮎・湯葉・お米 etc)に触れ、視覚・聴覚・触覚・嗅覚そして一番楽しい味覚の五感の全てで美山を実感していただきます。		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 美山町農産加工組合	/	⑤ /
② 財団法人京都ユースホステル協会	/	⑥ /
③ NPO 法人京都映画倶楽部	/	⑦ /
④	/	⑧ /
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】		

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	京都駅(9:30 出発)⇒美山町(神田の水)⇒道の駅(昼食)⇒かやぶきの里⇒かやぶきの里資料館⇒大野ダム ⇒美山ユースホステル 【美山ユースホステル泊】	
2日目	美山ユースホステル(8:30 出発)⇒芦生の森(由良川の源流を訪ねる)⇒江和ランド(16:00) ⇒京都駅(17:00 頃)解散	
3日目		
4日目		
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
神田の水	ふらっと美山(道の駅)	かやぶきの里
【コメント】 美山の名水として知られる『神田の水』水質は微アルカリ性で臭いのない冷たい清水です。有機物や細菌も含まず、鉄・マンガン汚染もありません。この地域にしては硬度が高くミネラル分の多い美味しい水です	【コメント】 道の駅『美山ふれあい広場』の中にあるお店で年間10万人が訪れる人気のスポットです。地元の住民が出資して運営する形態を取っていてTVや雑誌にも取り上げられました。毎月、イベントも開催しています。	【コメント】 約50戸の集落のおよそ8割が『かやぶきの里』でひな壇上の傾斜地に集まって建っている姿は見事。伝統的なかやぶきの技法とともに継承された歴史的景観が評価され、国の『重要伝統的建造物群保存地区』に指定されている。
【ポイント4】	【ポイント5】	【-】
		
美山ハイマートユースホステル	芦生の森	
【コメント】 山紫水明の京の山里・美山町に、約170年前の茅葺き民家を移築改修した『隠れ家』のようなオシャレな雰囲気のユースホステル。	【コメント】 「植物学を学ぶ者は一度は芦生演習林をみるべし」と言われる程有名な森で冷温帯下部に属する天然林は西日本では屈指であり大変貴重なものである。木本植物243種、基本生物532種、シダ85種が確認されている。	





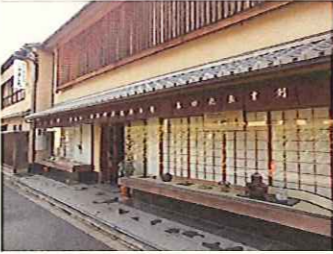
【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年 2月 26日

【応募者】 団体名 : (株)ツアーランド 所在地 : 京都市中京区烏丸通二条下ル西側529 ヒロセビル4F TEL/FAX : TEL 075-212-3070 FAX 075-212-3081 担当者 : 寅本 征彰 メールアドレス : tourland@silver.ocn.ne.jp 登録旅行業 : 第 2 - 357 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : 20012288	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h2 style="color: red; font-size: 2em;">49</h2>
---	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
茶の湯文化と“水” ～名水と利休～	京都府	京都市
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
平安京の三名水の一つと言われる『梅の井』の井戸から湧き出る名水。新年のお点前には必ずこの若水が使われる。		
【日程】	① 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()	
【旅の目的】	日本人なら誰もが知っている“茶道”。その発祥の地を訪ねる。	
【実施時期】	春(夏)・秋・冬・通年 / (実施時期: 2010年7月)	【催行人員】 10名 (最少催行人員: 2名)
【原価】	内訳 ■保険代…¥468 ■お茶代…¥700 1,168円 (大人1名)	
【販売価格】	2,000円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
千利休ゆかりの地を訪ねて『茶の湯文化』に触れる。“今日庵”“不審庵”“官休庵”を訪ねて、その後和菓子とお茶でゆったりとしたひとときを… (“今日庵”“不審庵”“官休庵”は公開されていないので外側よりの見学となります)		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 京都市観光協会	/	⑤ /
② 京都商工会議所	/	⑥ /
③ NPO 法人京都映画倶楽部	/	⑦ /
④ /	/	⑧ /
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】		

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	13:00 堀川今出川集合⇒“今日庵”“不審庵”など、茶の湯文化の本山周辺を散策⇒お茶タイム⇒現地散策	
2日目		
3日目		
4日目		
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
今日庵	不審庵	官休庵
【コメント】 千家の三代目宗旦“不審庵”を江考宗左に譲り隠居として建てた茶室で裏千家の呼び名である。茶室の構成を極限まで切り詰めたところに侘び茶人宗旦の面目躍如たるものが感じられる。	【コメント】 “不審庵”の号“不審花開今日春”の禅語から採られたものといわれている。“不審”とは“いぶかしい”という意味で、これは人智を超えた自然の偉大さと不思議に感動する心とも言える。裏千家呼び名である。	【コメント】 利休の曾孫で武者小路千家の一翁の創建である。入母屋造り柿葺きの出庇がある一畳台目の茶室で、武者小路千家の代名詞になっている。
【ポイント4】	【ポイント5】	【-】
		
小川通り①	小川通り②	
【コメント】 “今日庵”“不審庵”と続く小川通り町並み。落ちついた雰囲気侘びの世界を感じられる。	【コメント】 向かい側には茶道具屋さんもあり、“茶の湯文化”の本丸らしき面影が漂う。	

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年2月25日

【応募者】 団体名：湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部実行委員会 所在地：〒520-1221 滋賀県高島市安曇川町青柳992-2 TEL/FAX：TEL 0740-32-0206 FAX 0740-32-0206 担当者：阿部 和子 携帯 09046877589 メールアドレス：rffpm918@yahoo.co.jp 登録旅行業：第 ー 号（旅行業者の場合のみ、ご記入ください。） （ANTA 会員の場合は、右もご記入ください） 会員登録番号：	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 （記入不要） <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">50</div>
---	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
新竹取物語と“三尺の泉”/安曇川の恵み！安曇川源流 プナの森から琵琶湖への里山体感ツアー 【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 安曇川源流のプナの森で水源の森の役割を学ぶ。新竹取物語では、竹林整備・保全活動・自然観察で琵琶湖・里山の環境学習を体験する。安曇川の筏師を守る神伝説や安曇川河岸段丘上の後一条天皇の伝承が残る庭園など、豊かな自然に触れながら、人と自然との共生が作り出す文化、自然・景観、歴史などを学ぶ。	滋賀県	高島市

【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他（ ）
【旅の目的】	高島市は、奥山から琵琶湖の水まで一望できる美しい地域で、私たちの大切な環境であり、財産です。自然と共に暮らしてきた美しい景色が今も残り、人々の生業が生きています。何気ない日常の風景ですが、今も日本の原風景が残るすばらしい癒しの里で、市民の誇りです。私たちは、山からの“水”に活かされ、森や田畑、湖から恵みを受けています。その恵みは、琵琶湖を通じて、多くの暮らしを支えている（近畿1,400万人の命の源）ことを知っていただき、共感していただきます。私たちは、かけがえのない自然を守り、できるだけ多くの人々にその魅力を、五感で感じていただき、人と自然の共生・共存について考えます。

【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 春・夏・秋)	【催行人員】	18名 (最少催行人員: 5名)
【原価】	26,200円 (大人1名)	内訳 バス代2日分8,000円 宿泊9,500円 扇子絵付け体験(含む送料)2,000円 新竹取物語体験料3,000円 やな説明謝礼交通費500円(一人) 中江藤樹記念館入館料200円 地元インテリター準備環境整備費・交通費1,000円(一人) 投網体験謝礼交通費1,000円(ガイド:10人に一人) こだわり弁当1,000円	
	円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【販売価格】	有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

※琵琶湖に流れこむ安曇川の源流から琵琶湖の水まで、美しい自然の共生・共生と人々の生業に学び、日本の原風景をたっぷり堪能。
 ※近江扇子の扇骨は、300年を誇る伝統産業で、全国の90パーセントが安曇川地域で生産。安曇川沿いの竹を利用していましたが、現在は輸入に頼っているため、竹林は荒廃。荒廃した竹林は、人がふたたび関わることで、豊かな自然を取り戻した。郷土の自然の“再生”を自然観察(カブトムシは、一年中観察可)・竹林整備体験・“かぐや姫ご膳”(郷土料理と竹釜めし)調理実習で体験。巧みの技と扇子絵付け体験(オリジナル扇子) ※合同井堰を見学し、安曇川沿岸の水管理の要を学ぶ。 ※安曇川源流の生杉プナ原生林(日本の紅葉百選)で、太古のままの大自然の織りなす神秘的な魅力を堪能し、水源の役割について学ぶ。 ※琵琶湖の伝統漁法“やな”「未来に残したい漁業漁村の歴史文化遺産百選」 ※安曇川の伏流水・湧水の“三尺の泉”は、日本陽明学の祖中江藤樹先生の教えに由来する。 ※安曇川河岸段丘上の池の沢庭園遺跡：隠れ里に残る平安貴人の足跡と歴史ロマンを探訪 ※思子淵神社：安曇川の筏師を守る神伝説(材木を筏に組み、安曇川に流していたころ、信仰も盛んで、毎年秋にはシコブチ講として、祭りも盛大に行われていた)。 ※こだわり弁当：地元食材を使用

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】			
① 針畑ルネッサンスセンター/お土産販売・こだわり弁当	⑤ 吹田扇子 / 巧みの技と扇子絵付け体験	② 藤樹書院・良知館/ボランティアガイド	⑥ 白浜荘 / 宿泊施設
③ 北船木漁業組合 / “やな”説明	⑦ /	④ あどがわエコツアークラブ / 竹林整備・会場整備など	⑧ /

【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【特記事項】	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	安曇川駅集合9:20=安曇川南流“やな”見学9:40-10:00=川島地区安曇川河畔の竹林:新竹取物語の会場10:10-10:30 竹林整備体験と10:30-10:50 自然観察、10:50-12:40 竹製食器を手作り(お土産にお持ち帰り)と“かぐや姫ご膳”の調理実習13:00-13:30=藤樹書院と三尺の泉13:40-14:20 藤樹神社・陽明園・中江藤樹記念館、14:30-16:00=近江扇子「巧みの技と扇子絵付け体験」=16:10-17:00 琵琶湖岸で投網体験と日本の渚百選散策:自然を保全するには、利用が欠かせないことを学ぶ17:10 白浜荘(泊)
2日目	白浜荘発 8:30=8:50-9:05 合同井堰見学=10:05-10:30 針畑ルネッサンスセンター お土産購入と鯖街道の歴史を学ぶ=10:50-12:00 安曇川源流 生杉プナ原生林散策・自然観察と水源の森の役割を学ぶ/昼食:こだわり弁当=12:50-13:15 [池の沢庭園遺跡]見学=13:40-14:05 道の駅新本陣(お土産購入)=14:25-15:10 思子淵神社=15:30-15:55 道の駅藤樹の里あどがわ=16:00 JR安曇川駅

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】					
【ポイント1】  琵琶湖の伝統漁法「やな」	【ポイント2】  新竹取物語 荒廃した竹林は、人がふたたび関わることで、豊かな自然を取り戻した。郷土の自然の“再生”を自然観察(カブトムシは、一年中観察可)・竹林整備体験・“かぐや姫ご膳”(郷土料理と竹釜めし)調理実習で体験	【ポイント3】  江戸時代、安曇川の氾濫防止のために植えられた真竹を利用して始まった扇骨製造は、今では全国の約90パーセントの生産量を誇る地場産業です。300年の伝統を誇る近江扇子の絵付け体験と巧みの技を見学。オリジナル扇子は、仕上げ後日お送りします。			
【コメント】日本書紀にも出てくる安曇川南流の“カトリヤナ”。平成18年水産庁により「未来に残したい漁業漁村の歴史文化遺産百選」に選定。(秋以降は、現地で写真パネルで説明)	【コメント】安曇川の源流 生杉プナ原生林 太古のままの大自然の織りなす神秘的な魅力を堪能し、水源の役割について学ぶ。(日本の紅葉百選)	【コメント】安曇川の左岸、3方を断崖に、背後を急勾配の傾斜面に囲まれた河岸段丘上(隠れ地と呼ぶにふさわしい地理的環境)の“池の沢庭園遺跡”を見学。県内最古の庭園遺構で、全国的にもまれな、平安時代から鎌倉時代にかけての庭園。地元伝承によると、後一条天皇の皇子が隠棲した跡と伝えられている。			
【ポイント4】  合同井堰  床止工	【ポイント5】  安曇川の源流 	【ポイント6】  池の沢庭園遺跡と安曇川			
【コメント】合同井堰および水路は、安曇川沿岸災害復旧、土地改良事業として計画、実施。完成後は、災害の復旧並びに維持管理費の節減が図られた。床止工は、一級河川安曇川の河床低下から安曇川合同井堰とその下流の横断用水樋管を保護するために設置。なお、この床止には、自然との共生を目指し、周辺地域に生息する多種多様な水生生物が自由に移動できるよう全面魚道を併設している。	【コメント】安曇川の源流 生杉プナ原生林 太古のままの大自然の織りなす神秘的な魅力を堪能し、水源の役割について学ぶ。(日本の紅葉百選)	【コメント】安曇川の左岸、3方を断崖に、背後を急勾配の傾斜面に囲まれた河岸段丘上(隠れ地と呼ぶにふさわしい地理的環境)の“池の沢庭園遺跡”を見学。県内最古の庭園遺構で、全国的にもまれな、平安時代から鎌倉時代にかけての庭園。地元伝承によると、後一条天皇の皇子が隠棲した跡と伝えられている。			

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

年 月 日

【応募者】 団体名 : 湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部実行委員会 所在地 : 〒520-1221 滋賀県高島市安曇川町青柳 992-2 TEL/FAX : TEL 0740-32-0206 FAX 0740-32-0206 担当者 : 阿部 和子 メールアドレス : rffpm918@yahoo.co.jp 登録旅行業 : 第 ー 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : ー	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">5 1</div>
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】		
スノーシューで遊ぼう！雪景色を楽しもう！冬のブナの森体感の旅 / ブナの森から琵琶湖への里山体感ツアー	滋賀県	高島市		
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】				
ブナの森で水源の森の役割を学ぶ。豊かな自然に触れながら、人と自然との共生が作り出す文化、自然・景観、歴史などを学ぶ。中央分水嶺「高島トレイル」を目指し、自然と奈良や平安時代からの歴史を学びます。水鳥の遊ぶ400万の歴史を持つ琵琶湖の浜辺ウォークを楽しむ。				
【日程】	1. 日帰り	2. 一泊二日	3. 二泊三日	4. その他 ()
【旅の目的】	初心者でも手軽に雪の世界を楽しめるスノーシューで雪上歩行を楽しみます。林道は、冬はずばらしい・安全なスノーシュー体験場になります。高島市が誇る中央分水嶺高島トレイルを目指します。冬のブナの森で水源の森の役割を学びます。私たちは、山からの“水”に活かされ、森や田畑、湖から恵みを受けています。その恵みは、琵琶湖を通じて、多くの暮らしを支えている(近畿1,400万人の命の源)ことを知っていただき、共感していただきます。私たちは、かけがえない自然を守り、できるだけ多くの人々にその魅力を、五感で感じていただき、人と自然の共生・共存について考えます。			
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 冬)	【催行人員】	18 名 (最少催行人員: 5 名)	
【原価】	25,900 円 (大人1名)	内訳		
		宿泊 9,500 円	スノーシュー 2,000 円	こわわり弁当 1,000 円 × 2 日分
【販売価格】	円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【子供料金】	有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)	
【旅行企画のセールスポイント】				
水源の森ブナ原生林から琵琶湖の水まで、美しい自然の共生・共生と人々の生業に学び、日本の原風景をたっぷり堪能。ブナ原生林で大自然の織りなす神秘的な魅力を堪能し、水源の役割について学ぶ。“あられ”が転がり落ちる様子や山の稜線に突き出た雪庇など、その日で変わる雪の表情、白銀の世界を五感で感じていただきます。条件が良ければ、山水画・水墨画の中にお邪魔させていただくような感動の連続があります。新日本の街路樹百選メタセコイヤ並木の冬景色を楽しみます。				
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】				
① 白浜荘 / 琵琶湖畔政府登録旅館	⑤	/		
② あどがわエコツアークラブ / 竹製食器・スノーシュー	⑥	/		
③ /	⑦	/		
④ /	⑧	/		
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —			
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —			
【特記事項】				

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	JR安曇川駅集合＝新日本街路樹百選メタセコイヤ並木＝マキノ地区白谷＝スノーシューでマキノ林道ウォーク＝黒河峠(高島トレイル中央分水嶺)＝スノーシューでマキノ林道ウォーク＝マキノ地区白谷＝マキノ地区ピックランド(地場産野菜などお土産購入)＝安曇川(泊)	
2日目	安曇川(宿泊)＝新日本街路樹百選メタセコイヤ並木＝マキノ地区在原集落＝林道をスノーシューで乗鞍岳のブナ原生林から中央分水嶺を目指します。＝乗鞍岳間電波塔＝林道をスノーシューでマキノ地区在原集落＝マキノ白谷温泉＝道の駅藤樹の里あどがわ(お土産購入)＝安曇川駅	
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
マキノ林道 白谷口から出発 	中央分水嶺高島トレイル 黒河峠 	雪のブナ原生林 
【コメント】 スノーシューで、マキノ林道白谷口から中央分水嶺高島トレイル 黒河峠を目指します。登るにつれ感じる雪質の変化・移り行く雪景色・肌を感じる風・あられや雪煙りなど五感で感じます。杉林も雪の綿帽子で、綺麗におめかししています。みなさん、交代で、サクサクと新雪を踏みしめる心地よい道作り体験を楽しみます。	【コメント】 中央分水嶺高島トレイル 黒河峠で雪の上食堂でこだわり弁当を食べます。にわか喫茶で、しょうが湯で温まります。竹製食器は、お土産にどうぞ。条件が良ければ、山水画・水墨画の中に、おじゃまさせていただいているようです。	【コメント】 雪のブナ原生林で、大自然が織りなす神秘的な魅力を堪能します。水源の役割について学びます。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
メタセコイヤ並木 突風が、雪煙りで(おっ寒!) 	雪庇 遠くに、稜線に突き出た“雪庇”を見ることができる。 ←滝田川の上流 	道中、雪化粧したかやぶき屋根の集落を見る。 下山後は、高島名物“栃餅ぜんざい”で温まる。 
【コメント】 新日本街路樹百選メタセコイヤ並木は、毎日いろんな姿で迎えてくれます。条件によりますが、ガードレールの雪庇もめずらしく、また、強い風で雪煙りの“おっ寒!”体験も体にしみみます。	【コメント】 条件が良ければ、稜線に突き出た“雪庇”を見ることができる。在原集落のはずれに、平安時代の歌人として有名な在原平の墓と言われる石塔がある。在原平の代表的な和歌で「小倉百人一首」の千早ふる 神代もきかず滝田川 からくれないに 水くくるとはの歌にある滝田川が、今も集落の中央を流れる滝田川と同じ名前であることなどが、この伝説と結びついている。	【コメント】 雪化粧したかやぶき屋根の集落を、上から眺めるのも趣がある。下山後は、高島名物“栃餅ぜんざい”で温まる手作りのおもてなし。

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年 2月 18日

【応募者】 団体名 : 株式会社 スカイウェイ 所在地 : 兵庫県豊岡市寿町4番1号 TEL/FAX : TEL 0796-29-0203 FAX 0796-29-0211 担当者 : 世良 純一 メールアドレス : skyway@vc.inaker.or.jp 登録旅行業 : 第 2-578 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : 280578.	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h2 style="color: red; font-size: 2em;">52</h2>
---	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
コウノトリが暮らす水辺を訪ねる旅 (治水や農業と共存する多様な水辺を訪ねます。)	兵庫県	豊岡市
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
河川勾配がほとんどない円山川水系の自然再生 人の手によって再生、創造された湿地再生 生物多様な水田を作る為の水管理		
【日程】	1. 日帰り ②. 一泊二日 ③. 二泊三日 ④. その他 ()	
【旅の目的】	1. コウノトリが住む自然豊かな豊岡を堪能していただきます。 2. 円山川水系で取れた食材を食べていただきます。 3. 心豊かな人々との交流をしていただきます。	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 4月~10月)	【催行人員】 15名 (最少催行人員: 8名)
【原価】	内訳 バス代又はジャンボタクシー代 7000円 宿泊代1泊2食 10650円 昼食代 2625円 保険 500円 添乗経費 1000円	
【販売価格】	24000円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【子供料金】 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】	コウノトリの餌になる生き物調査をしていただきます。 大きな湿地づくりに参加していただきます。 小さな湿地をつくっていただきます。 安全なお米と生き物を同時に育む農法で作られたコウノトリ育むお米の作り方を学んでいただきます。 コウノトリ米や円山川で取れたうなぎ、ドジョウ、鯉等を食べていただきます。 コウノトリ野生復帰や水辺の再生、創造の取組みをしているボランティアさんとの交流をしていただきます。	
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】	① 但馬空港推進協議会 / 交通 ② 豊岡市 農政課 / 講演 ③ 豊岡市 コウノトリ共生課 / 体験 ④ コウノトリ湿地ネット / 体験・交流 ⑤ 豊岡市地産地消の会 / 食材 ⑥ コウノトリ本舗 / 食 ⑦ 川口屋リバーサイドホテル / 食・宿泊 ⑧ 日本交通 城崎営業所 / 交通	
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】	かつてコウノトリが野生で暮らしていた頃、円山川流域一帯には水路と段差のない湿地が広がり、遊水地としての機能を果たす多様な水辺がモザイクのように点在していました。大規模に水田が改変され、いたるところにあった水辺が姿を消した今日、もう一度コウノトリが野生で暮らせる自然を取り戻すには、できるところから水辺を造成し、それらをネットワーク化していく必要があります。治水や農業と共存しながら、多様に水辺の保存・再生・創造をしている豊岡に来ていただいて、水という大切な資源を感じとっていただくツアーにしてみました。	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	Air 又は JR 各地 → 但馬空港・豊岡駅 → コウノトリ本舗 (コウノトリ米のごはんとうどんで昼食) 10:30 11:00 11:15 12:00コウノトリ郷公園 (コウノトリ見学とコウノトリ米の作り方の講演 田んぼ (コウノトリの餌の調査) 城崎温泉 12:15 13:00 13:45 14:00 バス又はジャンボタクシー	徒歩 徒歩 徒歩
2日目	城崎温泉 → ハチゴロウの戸島湿地 (大きな湿地づくりに参加してもらいます。小さな湿地を作っていただきます) 9:00 9:10 バス又はジャンボタクシー ます。) 城崎温泉 (入浴・昼食) 城崎温泉 散策 豊岡かぼん団地 (工場見学、買い物) 11:50 12:00 13:30 13:40 15:00 15:30 16:10 バス又はジャンボタクシー Air 又は JR 豊岡駅・但馬空港 → 各地 16:30 17:00	バス又はジャンボタクシー バス又はジャンボタクシー 散策 豊岡かぼん団地 (工場見学、買い物) 15:00 15:30 16:10
【主な観光ポイント (観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
【コメント】 コウノトリ育む農法で作られたコウノトリ米です。	【コメント】 豊岡では、美しい環境と水を守る為、いろいろと活動をしています。	【コメント】 田んぼの中に入って、コウノトリの餌の調査をしていただきます。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
		
【コメント】 ハチゴロウの戸島湿地の管理棟です。	【コメント】 冬に田んぼに水を張って、コウノトリ米をつくります。	【コメント】 河川勾配がほとんどない円山川です。

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年 2月 23日

【応募者】 団体名 : 多可町観光交流協会 所在地 : 兵庫県多可郡多可町中区中村町123番地 TEL/FAX : TEL 0795-32-2381 FAX 0795-32-2349 担当者 : 事務局 翁田 友子 メールアドレス : kanko-kouryu@takacho.jp 登録旅行業 : 第 ー 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 :	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h1 style="color: red;">5 3</h1>
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
多可町魅力まんさい計画バスツアー〜目と舌で味わう播磨の奥座敷〜	兵庫県	多可郡多可町
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 平成の名水百選 松か井の水公園の湧水 室町時代末期に、播磨の国を統治していた赤松義村が定めた「播磨十水」のひとつと伝えられ、峠越えのとき、動けなくなった人もこの水を飲めば回復したという人々の渴きを潤した命の水でした。1日の湧水量：30トン。		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()	
【旅の目的】	加古川の源流、播州の奥座敷である多可町に癒しを求めて、自然、食、体験、人との交流を満喫していただくことです。	
【実施時期】	春・夏・秋・冬 通年 (実施時期：平成21年3月27日～)	【催行人員】 45名 (最少催行人員：25名)
【原価】	内訳	
	大型貸し切りバス代2,100円、通行料110円、添乗員ガイド費用500円、旅行保険料100円、 ふるさと工房「夢蔵」ケーキ代150円、棚田見学料100円、昼食播州百どり定食1,000円、 紙漉体験料500円、ジェラート250円、お土産(柏餅)代210円	
【販売価格】	円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
多可町の認知度を高めるため、平成の水百選に選ばれた松か井の水公園をはじめ、棚田百選の岩座神棚田、古代ロマンを感じる東山古墳群など多可町の観光素材を盛り沢山に組み合わせた多可町の緑豊かな自然を満喫いただく観光コースです。 播州百どりや地元食材を使ったこだわりのジェラートなどを御賞味いただき、多可町ならではの「こだわりの旅」を提供します。 加古川の源流杉原川の水でさらしたコウゾを原料に作られる紙漉体験又は世界にひとつしかない勾玉作り体験もさせていただきます。 他にもソバ打ち、豆腐生ゆば作り、藍染め体験、果樹狩り等もできます。 今後、加古川の源流杉原川のはじめを見る里山を歩くツアーも検討しています。季節やお客さまのニーズにより、コース内容の組み替えもできます。多可ふれあいボランティアガイドが魅力ある多可町をご案内いたします。		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 多可ふれあいボランティアガイド	／名勝ガイド	⑤ /
② 神姫バス(株)神姫観光	／旅行取扱	⑥ /
③ 兵庫県(観光地活性化支援事業)	／助成	⑦ /
④	/	⑧ /
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】	・多可ふれあいボランティアガイドとは、多可町の歴史的遺産や伝統文化、観光資源など地域の魅力を無料で町内外の方々に案内してくれるグループです。 ・県等へ助成を申請中。助成を受けることができれば販売価格をさげることが可能。H21年度は県の助成を受け、バス会社の協力も得て3,270円で実施。	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	~10:00 ・多可町へ 10:00~10:20 ・ふるさと工房「夢蔵」 朝市でお買い物、シフォンケーキとお茶で一服 10:50~11:40 ・岩座神棚田散策 ボランティアガイド・つくし、よもぎ摘みとり体験 12:00~13:00 ・昼食：R427かみ 車留満足食：昔ながらのかしわ・播州百どりを味わう 13:00~15:00 ・杉原紙研究所 紙漉き体験(または那珂ふれあい館にて勾玉作り体験 選択可) 青玉神社見学 15:20~15:40 ・ジェラテリア ふれっしゅあぐり館 地元食材を使ったこだわりのジェラートを味わう 15:50~16:30 ・新松か井の水公園 ボランティアガイド・水筒持参でおいしい水汲み 16:30~ ・各地へ	
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【新松か井の水公園】 	【岩座神棚田】 	【杉原紙 紙漉体験】 
【コメント】 室町時代末期に、播磨の国を統治していた赤松義村が定めた「播磨十水」のひとつと伝えられ、峠越えのとき、動けなくなった人もこの水を飲めば回復したという人々の渴きを潤した命の水でした。 現在においても、より美しくよりよい環境のもとで水を汲んで欲しいとの願いから、平成13年環境整備を行い、以降、集落でも掃除・植木の剪定などを行い、四季折々の風情豊かな自然を大切に守っている松か井の水は、平成の名水百選にも選ばれています。	【コメント】 「岩座神棚田」の人々は、はるか昔から、この地を耕し生きるために努力を積み重ねてきました。やがて天に向かって石垣を積みようになり『農のピラミッド』とも呼ばれる棚田を作りあげ棚田百選のひとつにも選ばれています。 余りにも急峻な地形と、農地の下に横たわる大きな岩盤のために、ほ場整備をあきらめざるを得ませんでした。この土地は生産性の低い土地ではなく、地滑りや洪水から山肌を守り、地下水を養うなど様々な働きを持つことがわかっています。	【コメント】 杉原紙は、7世紀後半から漉きはじめられたと推定され、千年以上も天下の名紙として愛好され、現在でも宮内庁御用達で宮内歌会始に使われています。古い歴史と伝統を誇るこの紙を復活再現しようと、昭和47年杉原紙研究所を設立し、昔どりの技法で紙漉をはじめました。原木からはぎとった表皮を杉原川で一昼夜さらし、冷たく澄んだ杉原川の清流と身を切る寒風が、他の産地より白く柔らかい和紙を生み出します。 杉原紙研究所で杉原紙が出来るまでの行程を見学していただいた後、ご自分の手でオリジナル和紙を漉いていただきます。
【ふるさと工房「夢蔵」】 	【道の駅R427かみ 車留満足食】 	【ジェラテリアふれっしゅあぐり館】 
【コメント】 多可町の特産「山田錦」や「黒大豆」など地域の資源を活かしたケーキやゼリー、コロッケ、たれ、みそなどこだわりの商品をはじめ、多可町の特産を使った手づくり商品を販売しています。 毎月第4日曜は「夢蔵デー」開催、旬のお惣菜やふるさとの行事食なども提供しています。 多可町のおいしい水を沸かしたお茶とお菓子で一服していただきます。	【コメント】 立ち寄るだけで森林気分が満喫できる道の駅R427かみレストラン車留満足、地元特産品の播州百どりを堪能いただけます。 通常より長い期間、日の光を浴びて、自由に穀類と雑草をついばみながら健康に成長した百どりのコクがあり、適度に引き締まった肉の食感が、一度食べたらやみつきになります。 物産コーナーは多可町の特産品が勢揃い、毎週日曜の朝開催の「かみの朝市」も好評で、地元の野菜などを求めてリピーターが訪れています。	【コメント】 平成年にオープンした多可町の新名所です。ジェラートの原料には、地元養荷牧場の新鮮な牛乳やハーモニーパークで収穫された四季折々の果物などを使用しています。 メニューは、期間限定でいちご、すもも、なし、りんご、さつまいも、栗などの多可ブランド、オンリーワンのハンドメイドジェラートが味わえるほか、特産の酒造好適米山田錦から生まれた純米大吟醸酒を材料につかった「山田錦アイス」をはじめ人気の「塩アイス」など約20種類。 また、あぐり館では鹿肉のうまみを活かしたピザやサンド、クレープなどのジビエ料理を味わうことができます。